

平成 26 年 3 月 10 日

組 合 員 各 位

日 本 機 械 輸 出 組 合

専務理事 倉持 治彦

紛争鉱物セミナー ～SEC 紛争鉱物規制の初年度調査の実態と対応課題～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、当組合では、KPMG グループより紛争鉱物問題の専門家を講師にお招きして、米国証券取引委員会（SEC）紛争鉱物規制の初年度調査の実態と対応課題に関するセミナーを下記の通り開催することといたしました。

米国金融改革法（ドッド・フランク法）第 1502 条に基づき、コンゴ民主共和国（DRC）及びその周辺国で産出された 4 鉱物（タングステン、タンタル、スズ、金）の製品への使用を規制する SEC 紛争鉱物規制に係る初年度調査報告は、本年 5 月末までになっております。

しかしながら、SEC 登録企業が法律上直接義務を負う報告については、SEC より情報提供が行われる一方、SEC 登録企業と取引をしている、あるいは川上のサプライチェーン上に位置する日本のサプライヤー等海外企業は、デューディリジェンス調査に協力しているものの、情報の開示レベルについて明確な方策が得られていない状況が続いています。また初年度調査にて得た多くの教訓や未決事項をどのように 2 年目以降の調査に活かすのか、2 年目以降「DRC コンフリクト判定不能」から「DRC コンフリクトフリー」への移行のためのシステムやプロセスの構築の問題等々、検討、解決すべき課題も散見されます。

そこで今回のセミナーでは、KPMG グループの専門家より初年度の開示ポイント、米国での先行対応企業の事例および「DRC コンフリクトフリー」に向けた取り組みの実際について紹介した上で、OECD ガイダンスの要求事項の再確認、各業界団体の動向、ならびに EU のような他国の法規制の動きに係る最新動向を踏まえつつ、日本企業の今後の取組みの方向性について解説いたします。

組合員各位におかれては、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

◆ 日 時 平成 26 年 4 月 2 日（水）13：30～17：00（開場 13：00）

◆ 場 所 機械振興会館 6 階 6D-1・2・3 会議室（定員 120 名）
東京都港区芝公園 3－5－8 TEL：03-3434-8216
会場地図 <http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

【プログラム】

時間	講演内容／講師
13:30～13:35	開会挨拶
13:35～15:15 (100 分)	【第一部】 初年度における開示ポイント、米国企業の動向および「DRC コンフリクト判定不能」から「DRC コンフリクトフリー」 への取組み（逐語通訳付き） KPMG LLP パートナー Samuel Fogleman 氏
15:15～15:25	休憩
15:25～16:05 (40 分)	【第二部】 OECD ガイダンスの要求事項の再点検、各業界団体の動向、 および他国の法規制の動きに係る最新動向 株式会社 KPMG FAS ディレクター 伊藤 益光 氏
16:05～16:45 (40 分)	【第三部】 初年度における課題の総括と本年度以降の対応 株式会社 KPMG BPA パートナー 井口 耕一 氏
16:45～17:00	質疑応答

◆参加費 無料（組合員企業限定）

※受講券の発行はございません。

※セミナー当日は、受付にお名刺をお渡しくださるようお願いいたします。

◆お申込み方法

セミナー参加ご希望の方は、当組合ホームページからアクセスしてお申込みください。

<http://www.jmcti.org/jmchomepage/semminar/index.htm#funsou>

◆お申込み締切日 3 月 31 日（月）

※定員となり次第、締切りを繰上げる場合がございますので予めご承知おきください。

◆キャンセル方法

4 月 1 日（火）までに、下記事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先

日本機械輸出組合 通商・投資グループ 庫元（くらもと）、斎藤、和田

TEL：03-3431-9348、<mailto:tohshi@jmcti.or.jp>

【講師略歴】

●Samuel Fogleman（米国 KPMG LLP パートナー）

KPMG デトロイト事務所におけるリスクコンサルタント・パートナーで、監査やアドバイザリーにおいて 26 年以上の経験を有する。自動車業界、グローバル展開をしている製造業、テクノロジー業界、鉱山業界の専門家である。SEC 関連の対応業務にも精通している。カリフォルニア州立大学チコ校卒、米国公認会計士（カリフォルニア州、アリゾナ州）。

●伊藤 益光（株式会社 KPMG FAS ディレクター）

KPMG ジャパンにおけるリスクコンサルティングとフォレンジックのリーダーの 1 人。KPMG ジャパンの紛争鉱物規制対応 CoE（センター・オブ・エクセレンス）のメンバー。日米にて 16 年以上のリスクコンサルティング業務の経験を有し、IT セキュリティやサイバーセキュリティの専門家でもある。また、会計監査、IT 監査、M&A、財務及び IT デューデリジェンスにも従事。

●井口 耕一（株式会社 KPMG BPA パートナー）

KPMG ジャパンにおけるオペレーショナル・リストラクチャリングとストラテジック・コマーシャル・インテリジェンスチームの責任者。KPMG ジャパンの紛争鉱物規制対応 CoE（センター・オブ・エクセレンス）のメンバー。業績不振企業に対する事業（再生）計画立案、業務改善、並びに M&A に関わるビジネスデューデリジェンス、価値向上施策立案、PMI に係るアドバイザリー業務に従事。KPMG 参画以前は、プライベートエクイティ会社にて投資実行とハンズオン経営を統括、それ以前はコンサルティング会社にてサプライチェーンマネジメント改革に従事。

以上